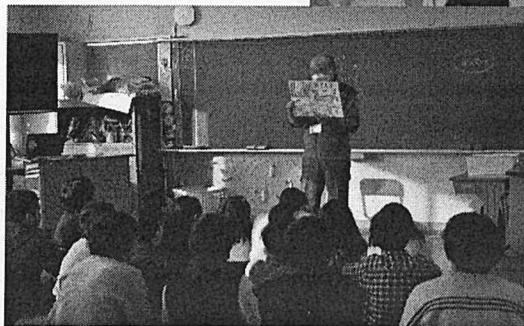


令和5年度 第4回

## 浜松市立竜禅寺小学校 学校運営協議会



【読み聞かせボランティア】



【4年生 二分の一成人式】

令和6年2月20日（火）15時00分～

浜松市立竜禅寺小学校

## 第4回 竜禅寺小学校運営協議会

令和6年2月20日(火) 15:00~16:30 : 会議室

開会 開催要件(委員の過半数の出席)確認 <司会:高須、記録:富田・佐々木>

1 始めの言葉

2 会長挨拶 ※欠席

3 校長挨拶

4 議長の選出

5 熟議 <議長:北井、記録:富田・佐々木>

(1) 学校関係者評価

・学校評価の結果、成果と課題 <松井>

・「竜禅寺小学校いじめ防止基本方針」について <坂口>

(2) 令和6年度 学校運営の基本方針について <校長>

(3) 学校運営協議会の自己評価 <議長>

6 報告 <議長:北井、記録:富田・佐々木>

(1) 読み聞かせボランティアの活動について <高須>

(2) 夢育やらまいかCS加算分の報告 <佐々木>

7 終わりの会 <司会:高須、記録:富田・佐々木>

(1) 連絡事項

①卒業証書授与式 (佐々木)

②来年度協議会計画 (佐々木)

③来年度委員 (佐々木)

(2) 終わりの言葉

## 第4回 学校運営協議会出席者名簿

### 学校運営協議会委員

会長	倉重 建朗(くらしげたけお)
副会長	北井 実香(きたいみか)
委員	寺田 成一(てらだしげかず)
委員	松本 直己(まつもとなおき)
委員	新井 和美(あらいかずよし)
委員	加藤 京子(かとうきょうこ)
委員	高須 道男(たかすみちお)
委員	柳川 春彦(やながわはるひこ)
委員	鈴木 宏幸(すずきひろゆき)

### 学校

校長	水野敦司(みずのあつし)
教頭	佐々木和也(ささきかずや)
教務主任	松井 康子(まついやすこ)
CS担当教職員	富田みゆき(とみたみゆき)
CSディレクター	中村 朝実(なかむらあさみ)

### 浜松市教育委員会

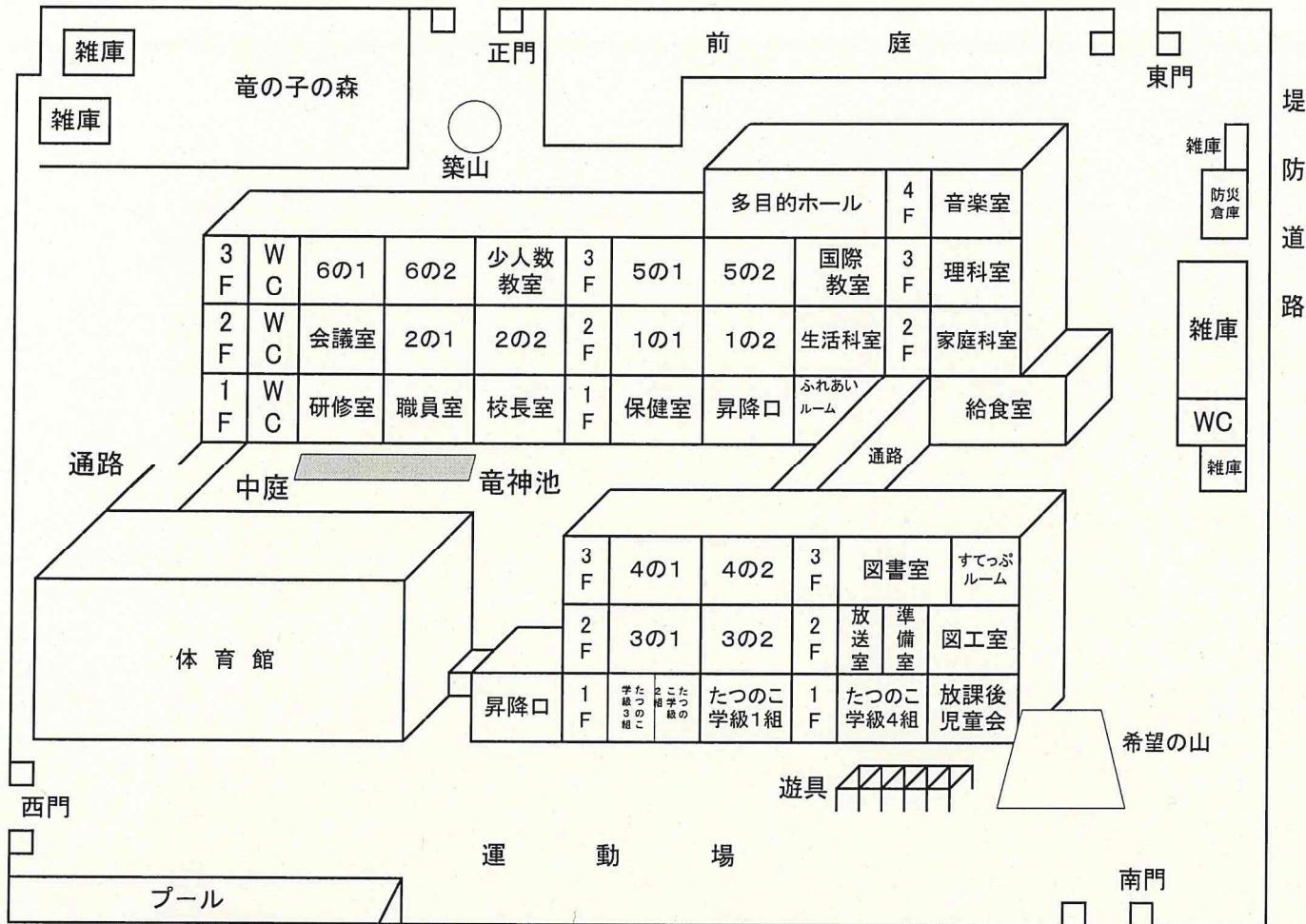
教育総務課	鈴木 陽子(すずきようこ)
-------	---------------

## 2月20日(火)の時間割と日課

学年・組	担任名	朝の会・Sタイム 8:00～8:25	1時間目 8:30～9:15	2時間目 9:25～10:10	3時間目 10:20～11:05	4時間目 11:15～12:00	給食・昼休み 12:00～13:15	5時間目 13:15～14:00	6時間目 14:10～14:55
1年1組	橋本		国工 加賀	国工 加賀	体育	生活		国語	
1年2組	富田		算数	体育 橋本	国語	国語		生活	
2年1組	石塚		国語	算数	音楽	体育 太賀	国語	国語	
2年2組	木賀		算数	国語	国語	音楽 石塚	音楽 石塚	体育 太賀	
3年1組	大場		国語	音楽 松井	国工 久野	国工 久野	書写	算数	体育
3年2組	菅		国語	道徳	松井	算数	書写	学活	算数
4年1組	藤村		道徳	体育 小名木	国語	算数	国語	社会	学活
4年2組	小名木		理科 大塚	社会 大塚	体育	算数	国語	国語	学活
5年1組	榎原		算数	社会 大塚	道徳	国語	国語	体育 坂口	書写
5年2組	坂口		算数	書写 久野	道徳	社会 池谷	社会 池谷	國工 榎原	学活
6年1組	近藤		国語 尚子	社会 池谷	理科 大塚	理科 大塚	体育 近藤	國工 近藤	算数
6年2組	尚子		算数 近藤	国語	社会 池谷	社会 池谷	近藤 道徳	國工 近藤	国語
たつのこ1	美晴		国語	国語	算数	国語	書写	國工	
たつのこ2	水口								
たつのこ3	幹恵		外國語	算数	書写 佐々木	音楽 加賀	音楽 加賀	理科	理科
たつのこ4	塩崎		国語	算数	国語	総合	総合	理科	理科

※授業は基本的に担当が行いますが、教科名の下に名前が記されているときは、その者が担当をします。  
 ※教科は変更になる場合があります。

# 校舎・教室配置図



## 職員組織

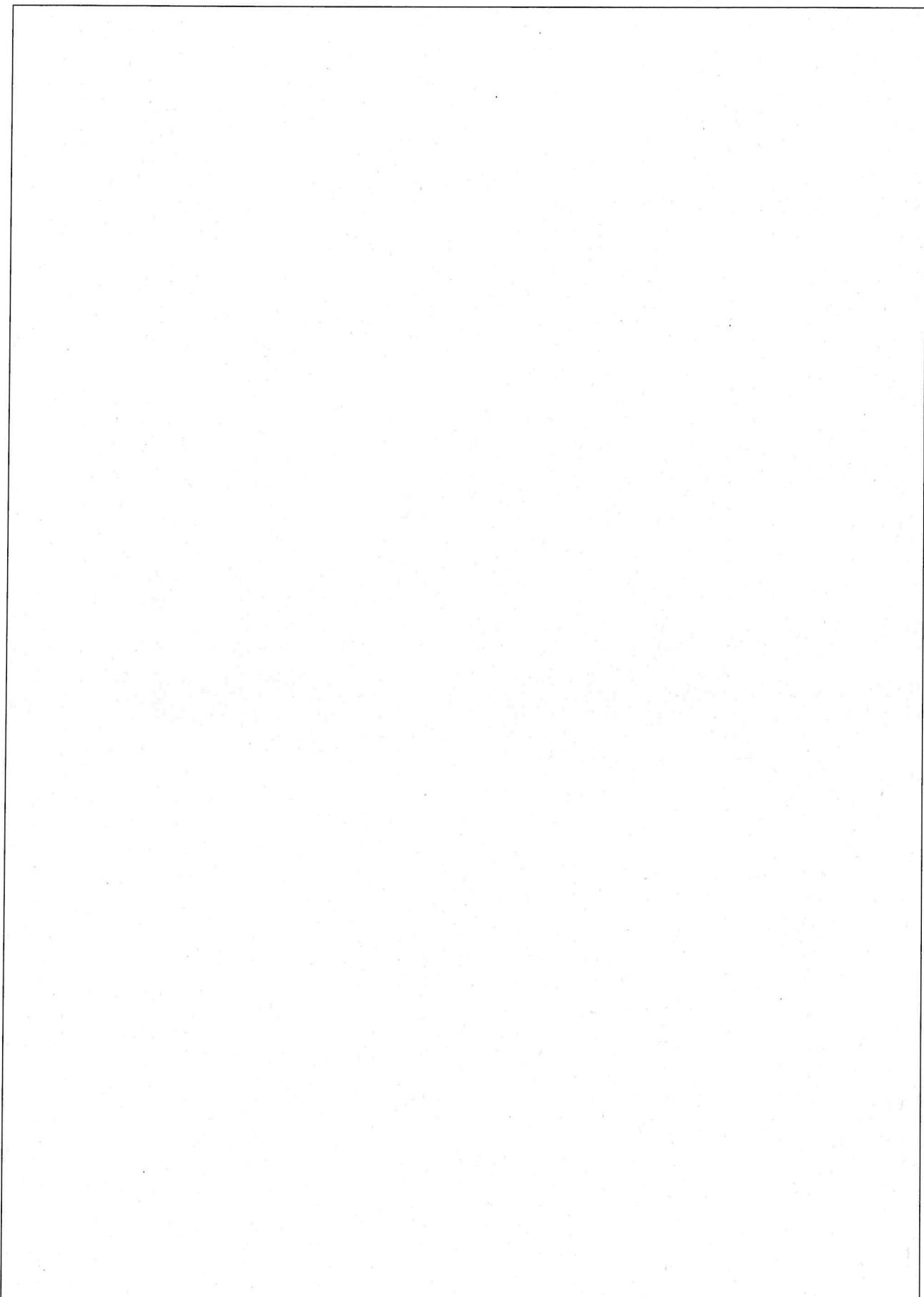
校長	水野 敦司
教頭	佐々木和也
教務主任	松井 康子
研修主任	鈴木 尚子
生徒指導主任	坂口 陽介
発達支援教育コーディネーター	塩崎 弘治
道徳教育推進教師	藤村さとみ
特別活動主任	橋本 幸蔵
キャリア教育推進委員	近藤 仁志
情報教育推進員	鈴木 幹恵
学校防災リーダー	加茂 尚弘
外国人児童指導	広瀬サユリ
養護教諭	北島 範子
事務職員	福田 知弘
給食員	鈴木 千尋 谷中理恵子
用務員	伊堂 勇一 杉本 鉄次

## 学年・学級編制及び児童数

R6.1.18現在

1年					2年				
組	担任	男子	女子	計	組	担任	男子	女子	計
1	橋本 幸蔵	13	11	24	1	石塚 智香	15	14	29
2	富田みゆき	13	11	24	2	木賀 嶽人	15	13	28
学年合計					学年合計				
		26	22	48			30	27	57
3年					4年				
1	大場愛菜美	14	11	25	1	藤村さとみ	13	15	28
2	菅 麻美	13	11	24	2	小名木克之	13	14	27
学年合計					学年合計				
		27	22	49			26	29	55
5年					6年				
1	榊原 瑞	16	11	27	1	近藤 仁志	11	14	25
2	坂口 陽介	17	11	28	2	鈴木 尚子	13	13	26
学年合計					学年合計				
		33	22	55			24	27	51
発達学級									
たつのこ1	鈴木 美晴	6	1	7	たつのこ3	鈴木 幹恵	4	1	5
たつのこ2	水口 享大	3	1	4	たつのこ4	塩崎 弘治	4	1	5
級外					たつのこ合計				
松井康子、広瀬サユリ 加茂尚弘、大塚昌弘 増田千寿乃							17	4	21
					全校合計				
							183	153	336
外国人児童生徒就学支援員	外国人児童教科指導員	小規模小学校支援員	スクールヘルパー	発達支援教室支援員	学習支援員	理科支援員	図書館補助員	パート給食員	校務アシスタント
宮川 恵	中津川啓三	久野 裕子	大力 典子	鈴木 真代	三浦千佳代	田中 保美	鈴木 美樹	西田 澄惠 三好 明美	中村 朝実
									ウインキー・エリン・シャン

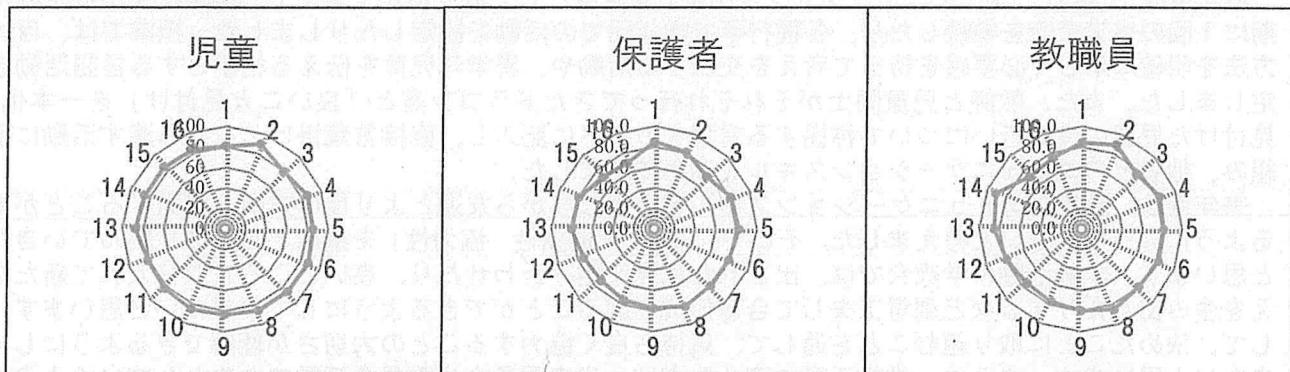
## 校内参観メモ



## 令和5年度 浜松市立龍禅寺小学校 学校評価報告書

## 1 自己評価

## (1) アンケート結果



「子供たちに育てたい能力の育成指標」のアンケート項目

仲間をつくろう (人間関係形成・社会形成能力)	自分を高めよう (自己理解・自己管理能力)	問題を解決しよう (課題対応能力)	夢に近づこう (キャリアプランニング能力)
1 他者の個性を理解する力	5 自己の役割の理解	9 情報の理解・選択・処理	13 学ぶこと・働くことの目的や意義の理解
2 コミュニケーションスキル	6 自己の動機付け	10 課題発見	14 生き方の多様性の理解
3 リーダーシップ	7 忍耐力	11 計画立案	15 将来設計1(見通し)
4 協調性・協力性	8 主体的行動	12 実行力	16 将来設計2(実践)

※太字は令和5年度の重点項目

## (2) 考察

児童全体では、それぞれの項目において80~90%程度達成していることが分かり、学校生活において、育まれるべき資質・能力を身に付けてきたという満足感が表れているものと思われます。特に、本年度の重点項目である「2コミュニケーションスキル」や「7忍耐力」「9情報の理解・選択・処理」「14生き方の多様性の理解」は、昨年度より1.6~4%数値が上がりました。これは、児童が、育成指標「○年生のみんなに頑張ってほしい目当て」を基に目標に掲げている内容を捉え、自分の到達イメージを持って学習に取り組んだり生活したりしてきた成果であると考えます。「3リーダーシップ」は、16項目の中では数値が一番低くなっていますが、昨年度の数値よりも4%上昇しました。「2コミュニケーションスキル」を高める狙いがあるペア学年交流や行事・授業における異学年交流の活動において、リーダーシップの能力も高めたのではないかと考えます。

保護者の数値は、15項目において昨年度の数値より上回り、1項目が昨年度と同値でした。お子さんの学校での取組の様子を授業参観会や学校行事で見ていただいたり、学校ホームページのブログや便り、キャリア・カウンセリング、キャリア・パスポート等でお伝えしたりしたことが高評価につながったのではないかと推測されます。教育活動全般に関わる項目についても全項目の数値が昨年度より上昇しました。特に「いじめを許さない学校」についての項目の数値は、4.5%上昇し、全アンケート項目の中で伸びが最も大きくなりました。今年度から実施を始めた4月のキャリア・カウンセリングにおいて、「龍禅寺小いじめ防止基本方針」の内容に触れ、学校の方針を全保護者に直接説明したことや、いじめ事案の対応の仕方が良い評価となつて表れたのではないかと考えます。引き続き、お子さんの学校での取組や学校で行っている指導の様子を具体的に伝えていきます。

また、保護者の自由記述の項目には、児童の具体的な良い表れや成長の様子についての記述が昨年度より増加しました。一方で、児童が苦手だと感じていることへの支援を望む内容も見られました。全ての児童の成長やつまずきなどの理解に努め、きめ細かな指導をしていく必要があると考えています。

## 2 学校関係者評価

### 3 今後の教育活動について

今回の振り返りアンケートの結果と学校関係者評価を基にして、本校の教育目標「夢を持ち ともに輝く」を実現するための今後の教育活動について検討し、来年度の重点項目を以下のように定め、改善を図りたいと思います。

#### (1) 仲間をつくろう（人間関係形成・社会形成能力）

##### ○ 「仲4 協調性・協力性」

本年度は、「仲2 コミュニケーションスキル」を重点として取り組んできました。昨年度から始めた学期に1回のペア交流を継続したり、各種行事で学年団での活動を設定したりしました。授業では、目的や方法を明確に示して必要感を持って考えを交流する活動や、異学年児童を伝える相手とする言語活動を設定しました。また、教師と児童同士がそれぞれ行ってきたドラゴン賞と「良いこと見付け」を一本化し、見付けた児童の良い行いについて称揚する言葉をカードに記入し、直接言葉掛けしながら渡す活動に取り組み、他者とのコミュニケーションスキルを高めてきました。

来年度は、高めたコミュニケーションスキルを活かしながら友達とより良い方向へ協力することができるようになってほしいと考えました。そこで、「仲4 協調性・協力性」を重点として取り組んでいきたいと思います。学級活動の学級会では、出された意見を組み合わせたり、良いところを取り入れて新たな考え方を生み出したりするなど創意工夫して合意形成を図ることができるようにしていきたいと思います。そして、決めたことに取り組むことを通して、気持ち良く協力することの大切さが理解できるようにしていきたいと思います。さらに、学級活動で高めた力は、代表委員会や委員会活動でも生かしていくように意識付けをしていきたいと思います。

#### (2) 自分を高めよう（自己理解・自己管理能力）

##### ○ 「自3 忍耐力」

本年度は、「自3 忍耐力」を重点として取り組んできました。見通し、振り返る活動の中で、日常的に振り返りを組み込み、自分の目標や取組を見つめ今後の取組方を見通したり、最後まで粘り強く取り組むための方法を教師と共に考え明確にして実行したりしていけるようにしてきました。また、やり遂げたことを価値付けたり認めたりすることができる場を確保し、次も修正・改善しながら粘り強く取り組もうとする意欲を高めてきました。その結果、アンケートの児童の数値は、約87%となり、忍耐力の高まりを感じています。その一方で、保護者と教職員の数値は昨年度よりも上がっているものの、児童の達成度に比べて低くなっていました。

来年度も同項目を重点とし、本年度の取組を継続したいと思います。また、取組の途中で進捗状況を自分の言葉で具体的に表現し、小さな変化も認める機会を設定し、自信を持って取り組めるようにしたいと思います。

#### (3) 問題を解決しよう（課題対応能力）

##### ○ 「問4 実行力」

本年度は、「問1 情報の理解・選択・処理」を重点項目として取り組んできました。授業では、情報を精査して考えを形成する学びが実現できるように授業改善に取り組んできました。また、情報教育全体計画や各学年の年間指導計画の修正・改善・共通理解を図ったり、効果的な活用法の研修を実施したりして、児童のICT活用を支える教員の指導力の向上に努めました。タブレットを活用した学習についての児童のアンケート結果の数値が約91%であり、高い達成感を味わっていることが分かりました。

来年度は、「問4 実行力」を重点項目とし、課題を処理し解決することができる力が児童に身に付くようにしたいと思います。「問3 計画立案」とのつながりを大切にし、授業や係活動、委員会活動、学校行事において、目標達成までの過程を考え、優先順位を付けながら取組を整理する場を設定し、計画的に行動できるようにしたいと思います。また、考えた取組を可視化しやすくなるようなワークシートや掲示を工夫し、確実に行動できるようにしたいと思います。

#### (4) 夢に近づこう（キャリアプランニング能力）

##### ○ 「夢4 将来設計2」

本年度は、「夢2 生き方の多様性の理解」を重点項目とし、学級活動や学校行事等の特別活動では、互いの長所や個性、多様な考えを認め合い、等しく合意形成に関わり役割を担うようにすることを重視して活動に取り組んできました。また、生活科や総合的な学習の時間、特別活動等における体験活動の機会を確保し、地域・家庭と連携・協働して多様な他者と協働することの重要性を実感しながら理解できるようにしてきました。その結果、児童は、多様な他者とコミュニケーションをとりながら、様々な考え方や取組方があることを受け止め、理解し、認めるができるようになってきました。

来年度は、「夢4 将来設計2」を重点項目とし、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力が児童に身に付くようにしたいと思います。育成指標に掲げている能力を育成するために活用している「夢への足あとカード」では、記入した「なりたい自分」につながる具体的な行動を目当てとして思い描き、実行できるようにします。また、定期的に振り返る場を設定し、高めた力の生かし方や目当ての修正の仕方を教師と共に具体的に思い描き、取り組んでいけるようにしたいと思います。



## 令和6年度 浜松市立龍禅寺小学校 学校経営方針（案）

### 1 子供たちを取り巻く現状

#### (1) 本校の歴史を振り返って

- 大正14年（1925年）2月、浜松南尋常高等小学校分教場として新設、2か月後浜松龍禅寺尋常小学校として独立、本年度100周年を迎える。記念の活動や行事等を実施する。
- 11年間、国語科を窓口としての「学び合う学び」についての研究、授業公開を継続、平成30年度からは、キャリア教育に重点を置き、窓口教科を広げ「基礎的・汎用的能力から見た学びの在り方～つながりを意識した教育課程と学び合う学び～」をテーマに研究発表会を実施した。令和2年度より学校運営協議会を設置、コミュニティ・スクールとしてスタートした。カリキュラムマネジメントの在り方を基に年間を通して「基礎的・汎用的能力」・様々な活動と「主体的・対話的で深い学び」・教科指導それぞれの中でのつながり、活動と指導のつながりを探究しながら、付けたい力の1年間の押さえ、6年間の系統等の研修を進めている。

#### (2) 子供たちの様子

- 明るく元気で素直、好奇心旺盛で元気である。
- 目標設定はできるようになってきているが、目標に向かって努力をし続けたり、苦しさを乗り越えてやり遂げたりするたくましさの欠如が見られる。
- 「育成指標」を配付し、その活用を働き掛けることによって、目指す姿の意識の向上を図っている。  
※「〇年生のがんばりたいめあて」  
・「キャリア教育年間指導計画」を掲示し、子供たち自身が見通しを立てて活動を実施する。  
・学習・活動後の振り返りの充実を図る。

#### (3) 保護者の願い

- コロナ感染症対応から時間が経過し、子供たちの学習や生活の姿を直接見て確かめる機会が増えたので、学校での教育活動に関心を持ち、理解を得られるようになっている。
- 2学期の振り返りアンケートの結果として、子供たちの苦手だと感じていることへの支援を望む意見がみられる。
- 「育成指標」について  
・ 「仲間をつくろう2」(81.3%)、「自分を高めよう3」(78.6%)「問題を解決しよう1」(77.4%)、「夢に近づこう2」(79.7%)と本年度の重点に関して、1学期に比べて「夢2」以外は1~2ポイント上昇していた。しかしながら、8割を超えているのは1項目だけだったので、一人一人の子供の状況を把握して、成長を図っていかなければならない。

#### (4) 南部中学校区の目指す子供の姿

「思いやりをもち、きまりを守る子」

## 2 これからの学校に求められる取り組み

### (1) 様々な関わりの中で

新指導要領でも、また「令和の日本型学校教育」に示されていることの中でも、個への認識と他との協働、個の充実と多様性への対応が示されている。

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」をキャリア教育、ICTの活用（プログ ラミング学習）、「社会に開かれた教育課程」「カリキュラムマネジメント」と「主体的・対話的で深い学び」、可能な範囲での「高学年教科担任制」との関連 の中で進めていく必要がある。

### (2) はままつ人づくり未来プラン

- 第3次浜松市教育総合計画（後期）～「未来創造への人づくり」「市民協働による人づくり」・・・「自分らしさを大切にする子供」「夢と希望を持ち続ける子供」「これから社会を生き抜くための資質や能力を育む子供」を目指すことは継続する。
- 「キャリア教育を核とした人づくりの推進」、「教育の情報化」、「コミュニティ・スクールの推進」は変わりなく重点として進める。
- 次期プランの検討期に入っているので、情報を捉え、目指すべきものを明確に捉えていく。

## 3 学校教育目標

### 「夢を持ち ともに輝く」

子供たち一人一人が、夢と希望を持って、仲間と励まし合ったり助け合ったりしながら、自分で考えて諦めないで粘り強く挑戦してほしい。そして、その中で生きていくために必要な資質・能力を育むとともに、自分らしさを磨き、だれかの役に立っていることの喜び（自己有用感）を感じながら生きていくことができる人になってほしい。（主体的な共存共栄）

## 4 学校教育目標具現のための視点

- 平成30年度より、「知」「徳」「体」の視点に加え、教科・領域を横断して育まれるべき4つの資質能力（浜松市が推進するキャリア教育における基礎的・汎用的能力）を通して全教育活動を見直した。
- 令和6年度も継続していく。・・・全ての教育活動を通して龍禅寺小学校で育成する能力を具体項目として目指す子供の姿を明確にする。

## 5 目指す子供の姿

- ・ 「仲間をつくろう」・・・多くの機会を通じて、友達の良いところを見付られるようになった。その良さを伝えながら、活動の中で生かすことができるようにしていく。
- ・ 「自分を高めよう」・・・その場や状況に合わせて目標設定ができるようになっている。設定はできるが、調整しながら粘り強く最後までやりとげることを目指していく力を付けたい。

- 「問題を解決しよう」・・さらに必要な情報を基に判断し、修正しながら実行する力を伸ばしたい。
- 「夢に近づこう」・・自分たちのしていることの意義や目的を理解し、自分たちを取り巻く様々な環境を捉え、よりよい自分や集団を目指してみんなで考え実行していく必要があることを学んでいきたい。

以上の子供の姿の表れから、本年度の重点について全教員で検討し変更を行った。

☆ 「子供たちに育てたい能力の育成指標」(別紙)

○ 本年度の重点

周りの多くの人々の思いや考えに触れ、積極的に取り入れ、生かしながら、自分たちが描いた夢の実現を目指して、自分の考えを伝え、修正を加えながら粘り強く実践を積み上げ、より良いもの「夢」を協力しながら作り上げ、実現していくこうとする。(挑戦し続ける)

(A) 仲間を作ろう（人間関係形成・社会形成能力）

**仲4：友達の考え方を理解し、受け止めた上で、自分の考え方も伝えながらより良い方向へ協力する。**

**【協調性・協力性】**

(B) 自分を高めよう（自己理解・自己管理能力）

**自3：自分の取組を修正したり工夫したりして粘り強く改善する。**

**【忍耐力】**

(C) 問題を解決しよう（課題対応能力）

**問4：活動計画に基づき、必要に応じて修正をしながら、実行する。**

**【実行力】**

(D) 夢に近付こう（キャリアプランニング能力）

**夢4：見通しを持ち、将来やりたいことを実現するために、すべきことを積み重ねていく。**

**【将来設計2】**

## 6 令和6年度の重点

☆ 龍禅寺小学校100周年を迎える年にあたり、子供たち、保護者、地域の方々、職員が「100周年に生きる子供たち」の夢の実現に向けて、一体となって教育活動に取り組む。

(1) 社会に開かれた教育課程とカリキュラム・マネジメント

○ 「子供たちに育てたい能力の育成指標」を重点に据えた指導を継続する。～職員、児童、保護者、地域がともに内容を理解し、さらに連携を図る。(子供像や教育活動の内容を共有する。)

(2) キャリア教育の推進

○ 「自分と他者との関係の中で自分を高める」～子供の未来の姿を思い描きながら「子供たちに育てたい能力の育成指標」を基に付けたい力を明確にして取り組む。

○ キャリア教育の先行研究の実績を生かし、さらに実践を積み上げ、成果を情報

発信する。

- 「キャリア教育年間指導計画」の修正・改善を進める。～活動や教科指導とのつながり、他の学年とのつながりを深める。本年度は、さらに子供たちを育てる場として「100周年」の様々な取り組みを計画に組み込み、有効に進める。
- 見通し（めあて）を持たせるオリエンテーション（4月）・ガイダンス、日常的な振り返りとキャリア・パスポートへの記録、学年の振り返りとしての整理（3月）などを計画的に実施する。～キャリア・パスポートの内容と子供の意識のつなげ方、内容、選択方法、学年間の各活動や教科指導とのつながり等の整理と共通理解を進める。

(3) 校内研修の充実を図る。

- キャリア教育について、活動のねらいや内容、教科指導とのかかわり「つながり」に関しては昨年度の研究を基にして行う。さらに、目指す子供の姿を明確にした一年を通じての指導、本年度目指す重点項目の実現に向けた指導の実現に関して授業研究とキャリア教育の実践を重ねて成果をあげることができるように研究を進める。年間指導計画の充実、キャリア・パスポートの内容と子供の意識のつなげ方の検討、内容、選択方法、学年間のつながり等の整理と共通理解等を進める。
- 小中の連携（南部中学校区小中合同研修会）を進める。～学校間の連絡を密にする。夏季休業中の合同研修会を実施する。

(4) 教育の情報化

- 情報教育の明確な位置付けの中でその充実を図る。
- プログラミング学習、マナーや SNS 使用に潜むリスク等の指導、その他活動内容の改善を行う。
- 授業や行事における情報機器の積極的な活用を進める。
- タブレット PC の日常的な使用や遠隔でのやり取りの効果的な活用を模索していく。（学校外での利用も含む）さらに、管理の確実性と環境整備もあわせて進める。

(5) 発達支援教育・外国人児童（帰国児童）対応等の教育の充実

- 様々な場面を通じて、一人一人違った思いや考えの中で生きている「私たち」を捉え、お互いに関わりを持つ。
- 全職員が着実に関わる。

(6) 児童・教職員の健康安全

- 各種感染症への対応や日常の体や心の安全・安心を大前提に教育活動を進める。
- 子供たち一人一人が健康や安全を基に、十分に自己有用感を高めていくことができるようとする。
- 教職員の健康維持に関して、お互いに声を掛け合いながら、仕事として、職場としての安心感を大切にする。

(7) いじめへの適切な対応を進める。

- 素早い対策委員会の実施、全職員による認知からのスタート、一人一人に寄り添った対応を行う。

(8) 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の充実

※ 運営協議会4年が終わり、学校との連携の中でよりよい動きが表れている。

- 活動の具体的な展開を進める。（学校で必要とすること、運営協議会に期待することをしっかりと伝える）

(9) 働き方改革

- 職員一人一人が、自己有用感を持って仕事に取組み、成果を見い出すことができる職場を目指す。
- 勤務時間を意識した仕事内容の効率化を図る。
- 教職員一人一人が力量を高める時間（研修の時間）を確保する。
- 会議の内容、実施方法（時間、参加者）等を工夫する。

(10) その他

- 創立 100 周年を迎える、100 周年実行委員会を中心に、PTA・地域の方々とともに、子供たちにとって意義ある 100 周年の一年を目指す。
- 子供たちにとって意義ある活動や行事等、保護者や地域とともに考え「皆で龍禅寺の子を育ててきたこと、また今後も育てていくこと」を中心に据えて進めていくようとする。

## 未来創造への人づくり

【はまつの人づくり】

【学校経営目標】

## 夢を持ち、ともに輝く

確かな学力

豊かな心

健やかな体

子供たちに育てたい能力の育成指標 (他者との関係の中で自分を高める竜禅寺の子)

重点項目

仲間をつくろう 《人間関係形成・社会形成》(協調性・協力性)【仲4】

◇友達の考え方や思いを理解し、受け止めた上で、自分の考えも伝えながらより良い方向へ協力する。

自分を高めよう 《自己理解・自己管理》(忍耐力)【自3】

◇自分の取組を修正したり工夫したりして粘り強く改善する。

問題を解決しよう 《課題対応》(実行力)【問4】

◇活動計画に基づき、必要に応じて修正しながら、実行する。

夢に近付こう 《キャリアプランニング》(将来設計2)【夢4】

◇見通しを持ち、将来やりたいことを実現するために、すべきことを積み重ねていく。

具体的な取組

○社会に開かれた教育課程とカリキュラム・マネジメントの実践の充実

～「子供たちに育てたい育成指標」を重点に据えた指導

○キャリア教育の推進(年間指導計画、教科指導との関連、キャリアパスポート等)

～教育活動の中で一つ一つの取組や児童一人一人の関わりの充実

○校内研修の充実(目指す児童の姿の明確化=年間を通しての育ちの押さえ)

～つながりの中での一つ一つの力の育成・・・「他者との関係の中で自分を高める子」の育成

～基礎的・汎用的能力のつながりを意識した教育活動

○情報教育の位置付けの明確化(ICT教育の充実、教育活動における活用)

○発達支援教育、外国人児童(帰国児童)対応等の教育の充実

○児童・教職員の健康・安全対策

○いじめへの適切な対応

～対策委員会の充実、全職員による認知、児童一人一人に寄り添った対応

## 創立100周年の子供たち

○PTA活動○参観会○教育相談

○地域のひと・もの・こと

←体験・支援

○保幼小の連携

○小中一貫教育

南部中学校区 目指す子供像

思いやりを持ち、きまりを守る

深い愛情を注ぎ、認め、成長を支える家庭

温かく見守り、声を掛け、

学びを支える地域

学校運営協議会との連携

(コミュニティ・スクール4年)

市民協働による人づくり

(様式 1)

令和 5 年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立龍禅寺小学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ・学校行事や授業等を積極的に参観し、学校の実態を知ろう。
- ・学校運営協議会の役割を正しく理解していこう。

<評価項目 1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・本校児童に付けたい力として忍耐力や生き方の多様性への理解などが挙げられ、その向上を目指した取組が学年ごとに紹介された。委員からも多様な手立てが述べられ、熟議が進んだ。
- ・学校評価を基に改善点・方策が提案され、委員の意見も反映された手立てを話し合った。

<評価項目 2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・読み聞かせボランティアの再開について、その方法や手順を委員の経験や学校の実情を考慮して熟議することができた。
- ・落ち葉集めのボランティア活動についても昨年度の実績を生かし、学校の実情と地域の取組を考慮して熟議することができた。

<評価項目 3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・本年度は便りの発行がなく、学校ホームページに掲載された程度で十分に発信できたとはいがたい。

<評価項目 4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・祝・創立百周年、育成指標を土台に学校、家庭、地域のつながりを更に密にしよう。
- ・子供たちの課題対応力の向上を目指し、一人一人の読書量の増加を図ろう。
- ・地域の情報や活動を学校へ取り込もう。
- ・キャリア教育の礎に立って、子供たちがリーダーシップを發揮できるような様々な取組を応援しよう。

(様式1)

令和 5年 4月 28日

浜松市立龍禅寺小学校  
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会  
代表 北井 実香 様

浜松市立龍禅寺小学校運営協議会  
会長 倉重 建朗

### 夢育やらまいか事業に対する意見書

令和5年4月28日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

#### 記

##### 1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

キャリア教育を推進していくために、外部の人材を活用して教育活動を進め、児童の体験の場の充実を進めるべきである。

↓

様々な職種の人材をお招きし、生き方教育に係る体験活動の充実を図る。

児童の読書教育をより一層推進していくべきである。

↓

図書室の児童用図書を充実させる。

(様式2)

令和6年2月20日

浜松市教育委員会 教育総務課  
学校・地域連携担当課長

浜松市立竜禅寺小学校  
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会  
代表 北井 実香

### 夢育やらまいか事業（CS加算分）報告書

夢育やらまいか事業のCS加算分の用途等について、下記のとおり報告します。

記

#### 1 学校運営協議会からの意見

別紙「夢育やらまいか事業に対する意見書」のとおり

#### 2 意見に基づき実施した活動等

No.	記号	事業内容	具体的活動内容
1	オ	職場体験学習の充実	様々な職種の方々を講師としてお招きし、お話を聞いたり体験したりする。
2	ケ	地域指導者による体験学習の充実	地元の味噌作り職人をお招きし、味噌づくりの体験やお話を聞く。
3	コ	読書活動の推進	ボランティアによる読み聞かせ活動の開始に伴い、名札を購入した。

#### 3 活動に要した経費

夢育やらまいか事業収支決算書のとおり

## 収支決算書

住所又は所在地 浜松市中区龍禅寺町844

名 称 浜松市立龍禅寺小学校夢をはぐくむ学校づくり推進協議会

代表者氏名 代表 北井 実香

浜松市立龍禅寺小学校夢育やらまいか事業

1 収入の部 419,000 円

2 支出の部 419,000 円  
(内訳)

費 用	予算額(円)	決算額(円)	算出の基礎						支出番号
			記号	事業内容	用途	単価	×	個数	
報償費	30,000	57,260	才	職場体験学習の充実 生き方講座講師謝礼品	3,650 × 2 =	7,300	円	5	
			ケ	地域有識者との連携 地域の伝承講座講師謝礼品	3,650 × 1 =	3,650	円	6	
			才	職場体験学習の充実 生き方講座講師謝礼品	8,050 × 1 =	8,050	円	8	
			才	職場体験学習の充実 生き方講座講師謝礼品	3,650 × 1 =	3,650	円	10	
			才	職場体験学習の充実 生き方講座講師謝礼品	3,800 × 3 =	11,400	円	13	
			才	職場体験学習の充実 生き方講座講師謝礼品	3,840 × 2 =	7,680	円	17	
需用費	144,900	142,080	才	職場体験学習の充実 生き方講座講師謝礼品	3,800 × 1 =	3,800	円	20	
			才	職場体験学習の充実 生き方講座講師謝礼品	510 × 23 =	11,730	円	22	
			ケ	地域指導者による体験学習の充実 味噌作り材料	31,860 × 1 =	31,860	円	9	
			イ	発達支援教育の充実 発達支援教育資料代	700 × 1 =	700	円	12	
			ケ	地域連携事業 ループ式名札(10枚)	1,336 × 3 =	4,008	円	3	
			ウ	児童会・生徒会活動の充実 おはながみ(500枚)	425 × 6 =	2,550	円	4	
			ア	立志式・1/2成人式 銀振りもみ和紙B4	752 × 10 =	7,520	円	23	
			ア	立志式・1/2成人式 友禅和紙A3	2,508 × 2 =	5,016	円	23	
			ア	立志式・1/2成人式 おはながみ	425 × 6 =	2,550	円	23	
			ア	立志式・1/2成人式 光沢紙	2,200 × 2 =	4,400	円	23	
			ア	立志式・1/2成人式 便箋	405 × 8 =	3,240	円	24	
			ア	立志式・1/2成人式 封筒	297 × 15 =	4,455	円	24	
			ク	栽培活動の充実 培養土	986 × 10 =	9,860	円	1	
			ク	栽培活動の充実 小さめ軍手(12双)	550 × 2 =	1,100	円	2	
			ク	栽培活動の充実 培養土	630 × 40 =	25,200	円	15	
役務費	44,100	23,560	ク	栽培活動の充実 花苗(ヒバ、パンジー、ナフシオ各27株)	2,800 × 3 =	8,400	円	15	
			ク	栽培活動の充実 パンジー苗	110 × 224 =	24,640	円	25	
			コ	読み聞かせ活動の充実 読み聞かせボランティア名札	1,423 × 2 =	2,846	円	14	
			コ	読み聞かせ活動の充実 読み聞かせボランティア名札	1,423 × 1 =	1,423	円	19	
			コ	学校図書館の充実 デスクトレー A4	737 × 3 =	2,211	円	26	
			コ	学校図書館の充実 用紙	101 × 1 =	101	円	26	
使用料	200,000	196,100	才	文化・芸術体験学習の充実 振込手数料	880 × 1 =	880	円	21	
			ア	心の教育の充実 葉書	63 × 360 =	22,680	円	11	
			才	文化・芸術体験学習の充実 貸切バス代	110,000 × 1 =	110,000	円	21	
			ウ	健康安全・体育的行事の充実 音響機材リース	36,630 × 1 =	36,630	円	7	
			シ	部活動大会参加支援事業 浜松市陸上大会バス代(往路)	13,750 × 1 =	13,750	円	16	
			シ	部活動大会参加支援事業 1部会陸上記録会タクシー代(往復)	28,070 × 1 =	28,070	円	18	
計			シ	部活動大会参加支援事業 浜松市陸上大会タクシー代(復路)	7,650 × 1 =	7,650	円	18	

## 3 清算

	負担額	負担割合(%)	返金額
浜松市	419,000	100.00%	0

## 竜禅寺小 学校運営協議会 年間開催計画

記入者:	佐々木和也			提出日:	2024/2/29
	開催日	曜日	開始時刻	~	終了時刻
第1回	4月 26日	金	15:00	~	16:30
第2回	7月 16日	火	15:00	~	16:30
第3回	11月 15日	金	15:00	~	16:30
第4回	2月 18日	火	15:00	~	16:30
第5回	月 日			~	
第6回	月 日			~	



※開催の目安は年4回です。  
※第1回は必ずすべて記載、第2回以降は未定の場合、開催月のみ記載してください。  
※提出後、変更となった場合、開催日程が確定した場合はその都度ご連絡ください。

月・日を入力すると、曜日が自動で入力されます。

## 【例】〇〇〇小 学校運営協議会 年間開催計画

	記入者:	浜松 太郎			提出日:	2024/3/8
		開催日	曜日	開始時刻	~	終了時刻
第1回		4月 26日	金	9:00	~	11:00
第2回		7月 23日	火	15:00	~	17:00
第3回		11月 日	日	未定	~	
第4回		2月 日	日	未定	~	
第5回		月 日	日		~	
第6回		月 日	日		~	

## 令和5年度 第3回 竜禅寺小学校運営協議会 議事録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年11月17日（金） 15時00分から17時10分まで
- 2 開催場所 竜禅寺小学校 会議室
- 3 出席委員 松本 直己、柳川 春彦、鈴木 宏幸  
高須 道男、倉重 建朗、新井 和美、北井 実香
- 4 欠席委員 寺田 成一、加藤 京子
- 5 学校 水野 敦司（校長）、佐々木和也（教頭）、松井 康子（教務主任）  
富田みゆき（CS担当教員）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 中村 朝実
- 9 協議事項
  - (1) 議長の選出について
  - (2) 高学年・たつのこ学級の活動紹介について
  - (3) 1学期末の学校評価と改善策
  - (4) 教育活動の充実に向けて

### 10 会議記録

委員総数9名のうち7名の出席があり、過半数を超えていたため、会議が成立している確認をした。

#### (1) 議長の選出について

前回推薦された北井委員が承認された。

#### (2) 高学年の実践内容の紹介

##### ① 4年生

課題「自分たちで考え、計画を立てて実行していきたい」について委員からは以下の発言があった。

- ・二分の一成人式について5年生に尋ねてはどうか。（松本委員）
- ・この学校の子は、挨拶ができるのか。できていないのであれば、大人の方から積極的に声を掛けて取り組んでいくとよい。挨拶ができたら褒める繰り返し、子供たちに習慣化されるとよい。社会に出ても一番必要。（高須委員）
- ・今日も積極的に挨拶してくれた児童がいた。挨拶ができるようになってきている。（松本委員）
- ・挨拶ができる学校は手入れが行き届いている。（高須委員）

##### ② 5年生

課題「下級生へ伝える 自分に生かす 自ら情報を求める」

仲間の考え方と自分のものを比べてみるとことについて委員からは以下

の発言があった。

- ・積極的でない児童をどのように巻き込んでいくのか。(高須委員)  
→2学期に入り1学期には見られなかった児童が副リーダー、チームリーダーとして活動している。担任の聞き方で“やる気”児童の“捉え方”を高めたり変えたりできる。様々な役割に分けて、個々が活躍できるようしている。(榎原教諭)
- ・消極的な子に適材適所で自信を持たせ、自己肯定感を上げていくことが必要。(高須委員)
- ・消極的な子にどのように支援をしていけばよいか。子供たちそれぞれの役割がある。学校のやり方を協議会で聞くと、こちらも勉強になる。(新井委員)
- ・変わってきた5年生の姿を感じる。これからも楽しみにしている。(高須委員)

### ③ 6年生

課題「挨拶がしっかりとできるように、中学に向けてイメージを広げる」について委員からは以下の発言があった。

- ・町民運動会は3町の対抗意識があった。子供たちの競争意識はどうなっているのか。運動会でも順位はつけていないようだが。(松本委員)  
→個人内でのタイムの向上を取り上げている。(近藤教諭)
- ・勝負にこだわる意識があると、その後に役に立つのではないか。下をばかにする、いじめにつながるから減らしているのか。いろいろなチャンピオンができるのもいい。(高須委員)
- これだけは誰にも負けないという自己肯定感を持たせることを大切にしていきたい。(校長)
- ・4年生が行っている挨拶運動も、それぞれの学年に合ったできることがある。6年生は6年生の発達段階にあたったできることを考えていけばよいのではないかと思う。(鈴木委員)  
→学年に応じた挨拶、対応をさせていく。(校長)

### ④ たつのこ

課題「自分の成長に気付き、自分の良さを認められない」←できることに目を向ける、ありのままの自分を受け入れる。について委員からは以下の発言があった。

- ・全くいられない子はいるのか。来られなくなった子にはどうしているのか。(高須委員)  
→保護者の方が一緒に登校したり、学校生活を送ったりしている。担任と連携をとり、どのようにしていくか相談している。(校長)
- ・成功体験を積み上げることが大切。(高須委員)

### (3) 1学期末の学校評価と改善策

議長の指示により松井教務主任から1学期の学校評価と改善策について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・懇談会についてPTA役員の負担が大きく、中止したが必要な面もある。  
懇談会の実施について意見はどうか。(北井委員)
- ・PTAの役員をやっていたとき、参加者が少ないとすることがあった。それでは実施の意味が無い。教師とPTAとでよい方法を話し合って決めてはどうか。(新井委員)
- ・教員主体でやっている方が出やすい。(北井委員)  
→学校側で必要な場面や説明が必要なときには実施していきたい。(校長)
- ・目的があれば保護者も来るが、当てはまらない学年の出席率は低いので必要無いのでは。共働き家庭も多く出席できない家庭もある。変えていかないといけない部分もある。(新井委員)
- ・学年懇談会にする、テーマを決めるなど、様々な方法がある。(松本委員)
- ・保護者と児童の達成度が近付いているのは、どういう表れと考えるか。(鈴木委員)  
→コロナ禍が過ぎ学校の様子を保護者が分かってきている。(校長)  
児童が評価を厳しくすることもある。(松井教諭)
- ・保護者の8割が好意的に評価しているのは、素晴らしいことだと思う。(柳川委員)

### (4) 教育活動の充実に向けて

議長により意見を求めるに、委員からは以下の発言があった。

- ・各学年の紹介にあった内容を、是非継続して取り組んでほしい。(高須委員)
- ・これから社会に必要な資質作りにも取り組んでほしい。(新井委員)  
→今後も学校行事や授業において、目標とする指標に向け取り組んでいく。(校長)
- ・Lタイムがなくなったことについて子供たちはどうか。(松本委員)  
→感想は聞いてないが。放課後が早く帰れるのでよいのでは。学校に遊びに来る子供たちもたくさんいる。学年を越えて一緒に遊んでいる姿もある。(校長)

### その他報告事項等

- ① 落ち葉集め
- ② 読み聞かせボランティア

司会から、次回会議は、令和6年2月20日(火)15時から会議室で開催する旨の報告があった。